

# 子ども県議会第2回活動 ～大津市にて地域体験活動～

8月22日(月) 10:00-16:00

子ども県議会第2回の活動は、大津市における地域体験活動を行いました。大津駅前に集合し、2グループに分かれて、実際に見たり、お話を聞いたり、質問したりしました。午後は、県庁に帰ってきて、午前中に学んだことを整理し、共有しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、実際に街へ出かけていくのは、3年ぶりでしたが、やはり実際に見る、実際にお話を聞いたり質問したりすることは、大きな学びにつながったのではないのでしょうか。



<p>「不登校って何だろう、居場所って何だろう」 大津オルタナティブスクール トライアンプ</p>	<p>「まちづくり、未来を幸せにする仕事」 株式会社 木の家専門店 谷口工務店(大津百町スタジオ)</p>
<p>【考えてみよう！】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校ってどんなこと？</li> <li>・あなたの居場所はどこ？</li> <li>・すべての人にとって、居場所とは？</li> <li>・勉強や学ぶってどういうこと？</li> <li>・子どもが幸せに生きるためには？</li> </ul>	<p>【考えてみよう！】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「木の家」は何がいいの？見て、さわって、において見つけてみよう！</li> <li>・「100年くらせる家」とは？</li> <li>・日本の森林を元気にできる家とは？</li> <li>・町家の再生について</li> </ul>
<p>学校へいくのがふつうと言われているけど、学校に行っていない人が悪いと決めつけるのはダメだと思う。集団行動が嫌だという気持ちはすごく共感ができた。校則はもちろんいるものもあるのだろうけど、なぜ必要なのか説明できない校則を押し付けるのはやめてほしいなと思いました。(子ども議員)</p>	<p>木を家のメリットや最近の建物の造り方、傾向について知ることができた。昔の文化や技術が最近では消えつつあり、それを残すためにはどうすればよいか、昔の文化や技術とは何なのかを学ぶことができた。また、家の寿命が短いほうが「リフォームしづらい」と聞いて、びっくりした。(子ども議員)</p>

午後は、県庁の会議室にて、午前中に体験してきたことや聞いてきたことをまずは自分で整理し、グループのみんなで共有しました。そして、「子どもの学びや居場所は？」「これからの家づくり、まちづくりは？」という2テーマについて、アイデアを出し合い、ポスターセッション方式で、グループでの話し合ったことを発表しました。

子ども議員一人ひとりがお互いの意見を尊重しながら、自分の考えたことを出し合いました。



次回(第3回)は、  
9月3日(土)に、  
長浜市で活動します。